

ヒメウラナミジャノメ

Ypthima argus



種名

分類

ジャノメチョウ科

形態

前翅長 18～24mm。小型で、裏面にさざ波もようがある。前翅の表面に 1 個、後翅に 2 個、前翅の裏面に 1 個、後翅に 5～6 個の眼状紋をもつ。一般に次種は♂より翅型が丸みをおび、地色が淡い。

分布

北海道(利尻島を含む)、本州、四国、九州(種子島・屋久島を含む)。

出現期

暖地では普通年3回、4～9月に発生する。10月に4回目が羽化することもある。寒冷地では年1～2回。中～終齢(5齢)幼虫で越冬する。

生態

草地や林縁に棲み、草の上をゆるやかに飛ぶ。ヒメジョオンなどで吸蜜、地上で吸水する。

食樹

イネ科のススキ、チヂミザサなど。

幼虫
(幼生期)

体長 25mm。褐色で、頭部が角状にとがる。

出現時期

(月)

—

—

—

 Δ

5

6

—

8

9

その他

参考文献：検索入門 渡辺康之著 チョウ